

<2023年度 児童発達支援 保護者向けアンケート>

公表日：2024年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	7	1		衝立の向こうの物置場におもちゃが転がって行ったりするので固定式のパーティションなどで囲った方がよいと思う。移動できるように今の衝立にしているのかもしれませんが、
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	1		1	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	4		2	手洗いなど、親から促す前に自分で進んでやりたがるほど、整っていてありがたいです。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30	2			
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されているか	28	1		3	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	2			
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	5		1	
	⑧	活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されているか	28	1		3	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	/	/	/	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30			2	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われているか	24	1		7	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	3		1	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	3		1	毎回丁寧で助かっています
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	8	3	10	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	3		3	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	2		1	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	2	1	4	
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28			4	
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	24	4		4	避難訓練などは、広報に載っているのでやっていることは知っています。ただ、非常時のガイドラインなどがあるかはよくわかりません。
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	2		6	
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	30	2			
	㉓	事業所の支援に満足しているか	30	2			まだ通い始めたばかりですが、良くも悪くも、新しい言葉や動きが増えてきたと感じるため、良い方向に変化がでてくることを期待しています。

<2023年度 放課後等デイサービス 保護者向けアンケート>

公表日：2024年3月

発達支援ルーム にこっこ
中野教室

			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・自由記述
体制 環境 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6				広々としていて、子供に対する先生の人数も、こんなに贅沢な施設はないと思います。
適切 な 提供 支援	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	5	1			
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				
保護 者 へ の 説 明 等	⑤	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1			
	⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6				
	⑦	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1			
	⑧	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	1	1	
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		1	
	⑩	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1			
	⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	⑫	個人情報に十分注意しているか	5			1	
の 非 常 時	⑬	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6				
	⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6				
満 足 度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	4	2			
	⑯	事業所の支援に満足しているか	6				

<2023年度 児童発達支援事業 自己評価結果表>

公表日：2024年3月

発達支援ルーム にこっこ
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		活動内容に合わせて部屋の割り当てを決め、安全に配慮して療育を実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		人員基準に沿って職員配置をしています。職員が急に欠勤となった場合には、少ない人数で運営する日があります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		遊具をしまう倉庫、入口脇の階段等、危険が伴う場所は目隠しをする、職員が傍に付く、あらかじめ危ないことを周知しておく等の対策を心掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		毎日の清掃に加え、定期的で大掃除を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		毎年実施し、真摯に意見を受け止めて対応や工夫に取り組んでいます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		各教室ごとに月2回程度の研修を行っています。また3教室が集まり、事業所全体でも研修の機会を設けています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		利用児に合わせて各種検査を実施したり、また職員間でも日々意見を交換しながら作成にあたっています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		利用児の発達状況やニーズに合わせてWAVES、Vineland- II などを実施しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		グループ療育のプログラムは、リーダーが中心となり、立案と計画をし、都度内容について意見を出し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		職員間で意見を交換し合いながら、利用児に合わせた新しい活動も取り入れるよう努力しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		朝のミーティングとグループ療育前のミーティングを必ず行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		少ない時間になる日もありますが、必ず振り返りを行うことで、利用児の共通理解を深めていくこと、今後の支援方針について共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		支援計画の更新にあたり、保護者との話し合い、職員間での話し合いの時間を設けています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児がいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象児がいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		利用児とその保護者の希望に合わせて、引継ぎ書の作成や園訪問等で連携を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		区のフォーマットの就学支援シート等を活用し、利用児の状況や配慮点等の引き継ぎをしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		年に数回、中野区もしくは杉並区主催の研修や事例検討会に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今年度は参加がありませんでした。参加が必要な際には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回、療育後の振り返りを15~20分行っています。また、随時、発達相談を承っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		全6回のペアレントプログラムを、3教室合同開催しました。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画を基に、支援内容に関してよりわかりやすく保護者に伝えるように努めています。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回、療育後の振り返りを15~20分行っています。また、随時、発達相談を承っています。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	開催していません。グループ療育の振り返りの際に、保護者同士のつながり、意見交換を意識した支援を行っています。
36		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		LINEアカウントによるご案内に加え、定期的に「ここにご通信」の会報を通して行事や連絡体制などを全体に発信しています。
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		全ての利用児が取り組めるよう、個別療育もしくはグループ療育の中で、毎年1回ずつ避難訓練や防災教育を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		成育歴シートに記入いただき、確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	成育歴シートに記入いただき、確認しています。ただし、教室として食事やおやつ提供は行っていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		都度、職員間で共有し、事例集を作成しています。また、勤務日数が少ない職員とも共有できるよう回覧しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年1回以上の研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			身体拘束は行いません。

<2023年度 放課後等デイサービス 自己評価結果表>

公表日：2024年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動内容に合わせて部屋の割り当てを決め、安全に配慮して療育を実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			人員基準に沿って職員配置をしています。職員が急に欠勤となった場合には、少ない人数で運営する日があります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			遊具をしまう倉庫、入口脇の階段等、危険が伴う場所は目隠しをする、職員が傍に付く、あらかじめ危ないことを周知しておく等の対策を心掛けています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年実施し、真摯に意見を受け止めて対応や工夫に取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	実施していません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			各教室ごとに月2回程度の研修を行っています。また3教室が集まり、事業所全体でも研修の機会を設けています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用児に合わせて各種検査を実施したり、また職員間でも日々意見を交換しながら作成にあっています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			利用児の発達状況やニーズに合わせてWAVES、Vineland-IIなどを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			グループ療育のプログラムは、リーダーが中心となり、立案と計画をし、都度内容について意見を出し合っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			職員間で意見を交換し合いながら、利用児に合わせた新しい活動も取り入れるよう努力しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			<input type="radio"/>	夏休み等の長期休暇に特別プログラムを実施する日もあります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝のミーティングとグループ療育前のミーティングを必ず行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			少ない時間になる日もありますが、必ず振り返りをする事で、利用児の共通理解を深めていくこと、今後の支援方針について共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			支援計画の更新にあたり、保護者との話し合い、職員間での話し合いの時間を設けています。
関係機	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			<input type="radio"/>	必要に応じて、保護者から情報を提供していただき、情報共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児がいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			

関 や 保 護 者 と の 連 携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	実施していません。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		今年度は参加がありませんでした。参加が必要な時には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回、療育後の振り返りを15~20分行っています。また、随時、発達相談を承っています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			全6回のペアレントプログラムを、3教室合同開催しました。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			療育後の振り返りと併せて、発達相談のご案内もしています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINEアカウントによるご案内に加え、定期的に「にっこにご通信」の会報を通して行事や連絡体制などを全体に発信しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施していません。	
非 常 時 等 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルの周知について、今後はより徹底をしていきます。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			全ての利用児が取り組めるよう、個別療育もしくはグループ療育の中で、毎年1回ずつ避難訓練や防災教育を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年1回以上の研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	身体拘束は行いません。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	成育歴シートに記入いただき、確認しています。ただし、教室として食事やおやつ提供は行っていません。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			都度、職員間で共有し、事例集を作成しています。また、勤務日数が少ない職員とも共有できるよう回覧しています。